

令和5年度介護職員等特定処遇改善加算について

「介護職員等特定処遇改善加算」とは

介護職員の確保・定着のため、経験・技能のある介護職員に重点化（一定の割合で他職種の処遇改善も可能）された加算です。すでにある介護職員処遇改善加算に加え、令和元年度介護報酬改定により新設されました。

「介護職員等特定処遇改善加算」の賃金改善以外の算定要件

（１）計画の期間中に職場環境等要件（①入職促進に向けた取組②施設の向上やキャリアアップに向けた支援③両立支援・多様な働き方の推進④腰痛を含む心身の健康管理⑤生産性の向上のための業務改善の取組⑥やりがい・働きがいの醸成の6つの区分でそれぞれ1つ以上）の取組を実施し、その内容を全ての職員に周知していること

（２）介護福祉士の配置等要件による届出を行っていること

（３）現行の介護職員処遇改善加算Ⅰ～Ⅲを算定していること

（４）特定加算に基づく取組について、ホームページへの掲載等により公表していること

社会福祉法人若杉会の各事業所は、平成20年10月から介護職員処遇改善交付金、引き続き介護職員処遇改善加算を取得し、介護職員の処遇改善に取り組んでまいりました。また、令和2年2月から新設の介護職員等特定処遇改善加算を取得いたしました。

（１）令和5年度の各事業所ごとの算定状況は以下のとおりです。

施設・事業所名	算定区分
特別養護老人ホーム愛翠苑	特定加算Ⅰ
デイサービス太陽	特定加算Ⅱ
特別養護老人ホームナーシングホームあかり	特定加算Ⅰ
グループホーム浜の宮	特定加算Ⅱ

（２）若杉会が実施し、福岡県及び福岡県介護保険広域連合に届け出た職場環境等要件は以下のとおりですが、これ以外にも職場環境を向上するための取組は行っており、継続して取り組んでまいります。

職場環境等要件		
区分	内容	具体的な取り組み
組 ① 入職促進に向けた取	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針・その実現のための施策・仕組みなどの明確化	●法人理念や行動指針を毎日朝礼で唱和する。●法人の基本理念、重点目標を掲示する。●新人教育で理事長が伝える。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	職安・求人広告を活用して、正職員だけでなく、経験や資格にこだわらない契約職員の募集を行い、勤務時間や休みなど可能な限り本人の希望を考慮した採用を行う。

	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	希望があって新型コロナに関する状況が許せば職場体験等を受け入れる。
アップに向けた支援	② 資質の向上やキャリアアップ 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	資格や技術取得を目指す者には勤務シフトの調整等必要に応じた受講支援を行う。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課の連動	介護福祉士を取得した者は、理事長との面談を行い、正職員に昇格する機会を設ける。
③ 両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児・介護休業規程を整備し、仕事と両立しやすい環境を整える。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	勤務シフト作成の際、可能な限り職員の事情を考慮して作成する。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	デイサービスは平日勤務のため、役所などウイークデーでないといけない用事があれば休めるようスタッフ同士で協力し合う。あらかじめ申し出があった有給休暇は勤務表に反映させる。
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	毎月産業医との健康相談日を設け、業務や健康面の不安等を相談できるよう環境を整える。(愛翠苑)
健康管理	④ 腰痛を含む心身の健康 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	●短時間労働者も常勤者同様、健康診断、ストレスチェック、ワクチン接種を実施。●休憩室を整備する。●ゆっくり休憩できるよう休憩時間を時間差にする。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	発生頻度の高いトラブルのマニュアルを閲覧しやすい場所に整備する。
業務改善の取組	⑤ 生産性向上のための タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	看護師がタブレット端末を使用し効率的にご利用者の情報を共有する。(あかり)
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	●全体日誌の活用により、部署間での情報共有、サービス向上に努め、業務削減を図る。(愛翠苑) ●電子媒体で記録、報告、情報共有を行い作業負担の軽減と効率化を図る。(あかり)

⑥ やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内のコミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	業務改善を含めてリーダー会議に意見を提案する。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	●自治会に加入し地域の清掃活動等に参加する。●地域の小学校と交流を図る。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	毎月学習会を行い、利用者を尊重したサービスへの意識を高め、やりがいとサービスの質の向上を目指す。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	毎日の終礼で、その日の反省点、利用者等からの喜びの声などを発表しスタッフ全員で共有する。全員がそろえない事業所では、掲示板や申し送りノートを活用し情報共有する。あかりはご家族からの手紙やメッセージも電子媒体で記録し共有する。